

7月特別専門部会（企画：同志社大学）

◆日時：7月29日（月）14：20-17：00

◆場所：同志社大学東京オフィス

（東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階）

◆内容

1. 「都市計画、建築、ワークプレースの今」（講演約90分）

似内志朗（ヴォンエルフ社）

<https://woonerf.jp/>

似内志朗様は昨年までは日本郵政の不動産部長として、JPタワーなどの建築に当たられてきましたが、ご定年でボンエルフ社に移られました。ボンエルフ社は、過去に本協議会でもボンエルフ社のオフィスでビルのウエル認証に関するお話しをお聞きした会社です。ウエルスタンダードの申請などを代行することや、ウエル認証やグリーンビルなどのコンサルタント会社です。似内志朗様が日本郵政を退職され、ボンエルフ社に勤めるまで、数ヶ月、欧州を回り、最新の建築、都市計画、およびワークプレースを見学、勉強されてきました。その内容は、すでにボンエルフ社が7月19日の講演会として募集をされ、満員となりました。

つきましては、ほぼ同じ内容ですが、知的オフィス環境推進協議会でもお話しを頂けることになりました。是非、このまたとない機会に欧州の建築とワークプレースの今の多くの写真をご覧頂きたく宜しくお願い申し上げます。

2. 「未来オフィスに関する同志社大学の東京ビッグサイト展示会報告」（講演約20分）

三木光範（同志社大学）

3月5～8日に東京ビッグサイトで開催された日経新聞社主催の未来オフィス展示会の報告を行いたいと思います。当日は完成した報告書、写真集を配布させていただきます。

◆当日の写真







◆開催関係者への礼状

株式会社ヴォンエルフ

似内志朗様

写：知的オフィス環境推進協議会運営委員各位

同志社大学理工学部 三木です。昨日は、知的オフィス環境推進協議会の特別研究会で

「都市開発・建築・ワークプレイスの今」という、大変貴重なお話しを頂き、誠に有り難うございました。定員が20名の部屋に26名も入り、椅子を隙間無く並べ、かつ、隣の部屋から椅子を移動させて、ようやく全員が入ることができました。これだけの参加者はなかなか無い状況で、似内様のご講演内容の魅力がそれを物語っていると思います。

今回は、世界を旅された中で撮影された3000枚の写真の中から厳選された新しい都市計画、建築、ワークプレイスをご紹介顶きましたが、それでも2時間近くになり、大変内容が濃いお話しばかりでした。

特に次の点は衝撃的でした。

1. レトロな古い建築や構造物を、街の遺跡としてできるだけ残し、街の過去からの良き雰囲気を、新たな建築と融合して、街のシンボルとして残していること。
2. 建築や構造物にアートがふんだんに取り入れられていること。世界的な建築家の前衛的なデザインだけでなく、ビルの外壁や高架下などの部分にも、おしゃれでかっこいいアートがあり、落書きなどもクールに残されていること。
3. コワーキングスペースが先端的建物であるより、古い建物や工場、倉庫などをうまく改造し、デザイン性豊かで、人に優しい空間作りになっていること。

西欧では、家具や家なども、良いものに手をかけて長く使う文化がありますが、都市や建築にもそれが現れていて、人の気持ちに寄り添う優しさが残ると思いました。一方、日本では、江戸の大火事や大地震のような災害が多く、また都市は大空襲などで焼け野原となり、常に新しいものに置き換えるのが近代的とされていたこともあり、古き良きものを新しい時代で活用する方法を確立してこなかった日本の考え方にも反省が必要と思いました。京都の町屋も、日本人が所有し

ているとビルに建て替えられて行くのに対して、外国人が所有すると、町屋を高級旅館に変えなどの方法で、むしろレトロを活かす工夫をしていることを聞くと、日本人は自分たちが持っている価値を世界的視点で見えていないこと、デザインやアートが持つ都市や建築の魅力を過小評価しているのだと思います。

似内様が最後にまとめて頂いた図式は本当に価値の高い関連図だと思いました。もの中心がひと中心になること、SDGs とウエル認証など、新たな価値がすでにヨーロッパや米国で生まれて進んでいること、省エネルギーに加えて R100 というすべて再生可能エネルギーで建築や都市が稼働すること。働き方改革に象徴される健康経営と、地球環境の維持との関係性は、日本人としてもっと世界の潮流に目を向けるべきだと感じました。特に、3P といわれる経済、環境、社会というトリプルボトムラインという言葉は、恥ずかしながらはじめて聞き、私ももっと勉強しなければと思いました。

似内様のお話は大学の多くの学部では学生の教育にはまったく触れてない部分であり、ビッグピクチャーを描けない、あるいは意識の高い地球人とは話ができない学生が多い状況にあり、このことも含め、多くの日本人が地球的視野を持ってないことが世界で戦えない大きな原因となっていると思います。私は教育者として、似内様のお話から、日本の若者に欠けている哲学的思考、経済的思考、社会学的思考、そして芸術的思考を考えてしまいました。

今回の似内様のお話をご参加者にとって大変有意義なお話だったと思います。お忙しい中、目からうろこの貴重なお話しをしていただき、本当に有り難うございました。今後とも、ご指導を頂きたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。